

事業所職員向け

児童発達支援自己評価表

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	今後の取り組み
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	%	基準上必要なスペースを確保しています	・冬の時期の寒さについては保護者の方からも意見をもらっているので、絨毯を準備するなどして対策を行なっています。
	2 職員の配置数は適切であるか	100%	%	基準上必要な人員を配置している	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%	%	館内は段差がなく、点字ブロックの設置等を行っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	%	日々、必ず清掃を行い発達段階に応じた環境設定になるように工夫している	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	63%	37%	設定した目標に対しての振り返りをもっとできると良いと思った	・PDCAサイクルを実行していくための中心となる個別支援計画が十分に活かしきれていない面があるため、計画書フォーマットの見直しを行い、支援をするうえでの着眼点等も追加しながら、PDCAサイクルが機能していけるように取り組んでいきます。 ・内部研修を積極的に行なっています。学ばなければならないテーマが様々にあるので、引き続き学びの場を作り自己研鑽に励んでいきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	88%	12%	成長の様子を伝える連絡ノートの取り組みなど、改善できることから取り組んでいる。要望には可能な限り応えていきたいが、難しい場合は話し合いを重ねていきたい	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	%	事業所のホームページ及び掲示板等に掲示している	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	75%	25%	外部からの視察、実習生の受け入れや研修の受け入れ等を積極的に行い、外部からの感想を頂いている	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	%	内部研修や勉強会等を実施している。月1回、内部の勉強会で支援の意識、支給の流れ等共通理解を図っている勉強会など、学ぶ場ができてよかったと思う	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100%	%	園の先生とも連携した方が同じ目標に向かって取り組めると思う	・個別支援計画書については、現在の状況とこれからの支援内容が混在した記載となっており、分かりにくい面がありました。そのため、支援目標に対しての取り組みが具体的にわかりやすいフォーマットに変更を行なっています。 ・職員等の異動等もあり、児童発達支援ガイドラインが十分に周知できていない面があった。職員への周知を行うと共に、研修を実施して内容の理解を深めていく。 ・終礼前にクラス毎の反省を行っていますが、クラス会議の時間が十分ではなかったので、今後は定期的にクラス会議を実施していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	63%	37%	利用にあたっては心理検査が実施されているが、検査結果を十分に活用できていない面がある。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	%	ガイドラインを参考に支援計画書の作成を行っています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	88%	12%	終礼や反省等、振り返りの場面でもっと活用していきたい	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	%	クラス毎に行なっている。必要に応じて終礼等で全体からの意見を聞いている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	88%	12%	毎回ではないが必要に応じて検討をしている 支援内容も各個人の課題に応じたものになるよう見直している	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	100%	%	個別と集団場面での様子を見て、支援ニーズの高い場面を想定した計画作成を行なっている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	75%	25%	打ち合わせの時間を十分にとれない時がある。 終礼の時に次回に向けた話し合いをしている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	%	毎日終礼を行い、利用児の状況を確認し合ったり、支援の検討を行なっている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	88%	12%	毎日記録をききゆうしている。 記録を活かしていけるように、改善が必要	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	%	必ず半年毎に実施しています。		
21 相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	%	児童発達支援管理責任者及びクラス担任が参加しています	・自立支援協議会に参加しているが、内容の周知が行き届いていないため、朝礼等で伝えていきます。	
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100%	%	保健師や教育委員会、子育て世代包括支援センター等の関係機関と連携した支援を行っています		

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	100%	%	受け入れ実績がないため評価できず	・医療的ケア児のニーズが地域にあるのかが把握できていないので、市役所と情報交換を行なっていくようにします。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	100%	%	同上	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	%	就学に向けたサポートを保育所や幼稚園、教育委員会、医療機関と連携してサポートをおこなっている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	88%	12%	保護者の了承を得て、就学先の学校に情報提供を行っている。学校見学等に行っている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	88%	12%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、子どもと活動する機会があるか	75%	25%	保育所に通園しながら児童発達支援を利用しているケースが多いため、必要な児童には個別に対応している	
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	75%	25%	自立支援協議会に参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	%	定期的な面談の他、おたよりや電話連絡等で情報交換を行っている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	100%	%	毎週金曜日に保護者のグループミーティングの機会を設けています。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	%	利用開始前に説明を行っている	・今年度はコロナ感染防止のために大きな行事がなく、親子で楽しめる企画ができなかったことを残念に思う。新型コロナウイルスの感染拡大が収束しない限りは大きな行事の開催は慎重にならなければならないが、親子で楽しめる企画は考えていきたいと思います。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100%	%	面談時に保護者に説明し、その都度同意を得ている	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	%	保護者とは直接会った時、共通理解できるように話をしたり相談に応じている。 お便り欄を定期的に発行しなおよひろばの様子を伝えるようにしている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	88%	12%	コロナ感染防止のため、会を実施できなかった	
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	%	相談や申し入れがあった場合は、管理者または主任に報告し、対応を行っています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	%	定期的におたよりの発行を行っています	
	38	個人情報取扱いに十分注意しているか	100%	%	鍵の掛かる櫃で保管しています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	%	クールダウンスペースを作っている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	75%	25%	今年度はコロナで行事を開催することができなかった	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	88%	12%	避難訓練は実施しているが、マニュアルが十分に周知されていない	・各種マニュアルの周知が徹底できるように、職員向けにマニュアルやガイドラインをまとめファイリングしたものを配布し、周知の徹底を行なっていきます。また保護者にもマニュアルをファイリングしたものを作成し配布を行なっていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	%	月に1回の避難訓練を実施しています	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%	%	利用開始前にアセスメントを行っています	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	%	食物アレルギーのあるお子さんには医師の指示書の提出をしてもらっています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%	%	書籍や終礼で周知している。小さな事故（怪我）でも必ずヒヤリハット報告書を記入して全体周知を行なっている	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	%	年に1回は必ず虐待防止に関する研修に参加しています	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	88%	12%	身体拘束等の対応はできませんが、安全面の配慮としてパニック時の対応等を個別支援計画書に記載しています。	